

平成 29 年度 企画振興部 「実行宣言」

企画振興部長 加藤 正宏

『松阪市総合計画～住みやすさ進行中！バージョンアップ松阪～』の担当政策

- 4 人と地域の頑張る力（地域づくり）
- 7 市民のための市役所（行政経営）

基本方針

企画振興部は、松阪市の未来につながる戦略性をもった企画・調整、行財政改革、情報化の推進と本庁管内及び嬉野、三雲、飯南、飯高の4つの地域振興局管内における特色ある豊かな地域づくりを、地域連携、協働という視点でサポートしていく部署として本年度誕生しました。

本年度は特に、

- ①本年3月に公表しました、まちづくりの基本となる『総合計画』を市民のみなさんにご覧いただき、みなさんと一緒に「ここに住んで良かった」と思えるまちづくりを推進していくこと。
 - ②本年3月に公表しました『松阪市行財政改革推進方針』に基づき、「持続可能な市政運営」と「質の高い行政サービス」の両立を実現すること。
 - ③住民協議会や自治会をはじめとする地域の活動主体が自立したまちづくりを実現できるよう、そのあり方の方向性を見出していくこと。
 - ④地域の個性を生かせるまちづくりの取組を進めていくこと。とりわけ中山間地域においては、人口減少に伴う過疎化が進む中、移住促進の取組を拡大し、地域の活性化をめざしていくこと。
- などに取り組んでいきます。

実行宣言

- ①未来につながる政策立案に努めます！（経営企画課）
- ②市民と職員に役立つ情報施策を実行します！（情報企画課）
- ③市職員全体の「行財政改革」に対する意識向上をめざします！（市政改革課）
- ④地域主体の個性ある地域づくりを支援します！（地域づくり連携課・各地域振興局）

マネジメント方針

- ・部の時間外勤務時間を対前年度比5%削減します。(災害・選挙対応を除く)
- ・交通事故、交通違反を起こさないよう、毎週開催する部内協議を通じて部職員に徹底します。
- ・部内会議及び部所属課が主催する会議はペーパーレス会議とし、他の部局への一層の普及を図ります。

期首宣言シート

宣言①	未来につながる政策立案に努めます！
担当	経営企画課
『総合計画』の施策との関わり	7-① 計画的な行政運営
組織紹介	<p>経営企画課は、昨年度に策定した『総合計画』に掲げる政策・施策の着実な推進を図るとともに、社会環境や市民ニーズの変化に的確に対応するため、平成29年度は評価システムについて、平成30年度の本格導入に向けての制度構築を進め、事業の目的・効果を検証しながら効果的な事務・事業の推進が可能となるよう努めていきます。</p> <p>また、国勢調査や経済センサスなど、統計法に基づく各種統計調査を実施するほか、人口をはじめ市に係る各種統計結果をとりまとめ、ホームページなどで広く情報提供するとともに、新たな政策の形成に向けた統計情報の分析と活用を進めていきます。</p>

本年度事業の活動指標と達成目標					期末記入欄	
No.	事業名	活動指標	目標	関係施策	実績	評価
1	定住自立圏構想推進事業費	定住自立圏共生ビジョン懇談会の開催回数	2回	7-①	—	—
2	各種基幹統計調査事業費	基幹統計調査結果に基づく松阪市版集計結果及び解説のHP上での公表回数	1回	7-①	—	—
3	統計調査一般経費					
4	松阪市政推進会議事業費	松阪市政推進会議の開催回数	4回	7-①	—	—
5	総合計画策定事業費	基本計画の進捗を管理する評価システムの評価対象事業数	440事業	7-①	—	—
6	若者チャレンジ松阪創造事業費	討議回数	4回	7-①	—	—
7	企画一般経費	研修会等への参加回数	1回	—	—	—
評価基準…A (90%以上)、B (70~89%)、C (50~69%)、D (30~49%)、E (29%以下)						
評価理由 (期末記入欄)						

その他の取組について	
取組名称	期末評価
地方創生の推進	—
空き家等対策の推進	—
評価基準…A (90%以上)、B (70~89%)、C (50~69%)、D (30~49%)、E (29%以下)	
評価理由 (期末記入欄)	

組織マネジメントシート

宣言②	市民と職員に役立つ情報施策を実行します！
担当	情報企画課
『総合計画』の施策との関わり	7-① 計画的な行政運営
組織紹介	<p>情報企画課は、市の情報施策を形成し、全庁的合意の下に効率的かつ合理的な業務環境を整える役割を担っています。</p> <p>情報通信技術の進歩は非常に速いため、情報化政策を検討する際には情報の収集の精査が欠かせません。</p> <p>また、情報通信技術は市民に提供している様々なサービスを支えると共に、限られたリソースの下で市の業務を遂行する役割を担っています。</p> <p>そのため、これらの基となるシステム及びネットワークを安全かつ正確に稼働させることが求められています。</p> <p>上記の業務を確実に履行していくためには、市の情報やネットワークが安全に保たれている環境を提供しなければなりません。この中には、市が保有する情報を確実に守るだけでなく、考えられる脅威からのリスクの極小化に努めることも含まれます。</p> <p>さらに、国が強力に推し進めているマイナンバー制度やマイナンバーカード取得の推進などにも取り組んでいます。</p>

本年度事業の活動指標と達成目標					期末記入欄	
No.	事業名	活動指標	目標	関係施策	実績	評価
1	庁内OA化推進事業費	職員用パソコンの導入	50台	7-①	—	—
2	システム管理事業費	システムダウンタイム	ゼロ	7-①	—	—
3	庁内ネットワーク管理事業費					
4	庁内ネットワーク構築事業費					
5	情報化推進事業費	情報化推進計画の策定	1件	7-①	—	—
6	社会保障・税番号制度システム改修事業費	システムの改修	1件	7-①	—	—
7	ICTガバナンス推進事業費	セキュリティ研修の開催回数(延べ)	10回	7-①	—	—
8	プリンタ等統合事業費	高機能複合機等の導入	16台	7-①	—	—
9	IT推進一般経費	セミナー、研修会等への参加回数(延べ)	20回	—	—	—
評価基準…A(90%以上)、B(70~89%)、C(50~69%)、D(30~49%)、E(29%以下)						
評価理由(期末記入欄)						

その他の取組について	
取組名称	期末評価
—	—
評価基準…A(90%以上)、B(70~89%)、C(50~69%)、D(30~49%)、E(29%以下)	
評価理由(期末記入欄)	

組織マネジメントシート

宣言③	市職員全体の「行財政改革」に対する意識向上をめざします！	
担当	市政改革課	
『総合計画』の施策との関わり	7-① 計画的な行政運営 7-③ 健全な財政運営	
組織紹介	<p>市政改革課は、少子高齢化や人口減少、公共施設の老朽化など、市が直面する様々な課題に対応し、市民ニーズに沿った質の高いサービス提供を実現するために、「行財政改革」の手法を職員一人ひとりに浸透させ、市の事業や施設の「選択と集中」を推進しています。</p> <p>昨年度は、これからの「行財政改革」の考え方をまとめた『松阪市行財政改革推進方針』や市の保有する施設の今後の方向性を定めた『松阪市公共施設等総合管理計画』等、これからの市政運営を方向付ける計画を策定しました。</p> <p>平成 29 年度は、これらの計画の内容について、研修会の開催やガイドライン、マニュアル等の整備を通じて全職員に浸透させるとともに、「経営」の視点に立った行政サービスや職場環境の改善活動を活性化していきます。</p> <p>また、老朽化及び重複する公共施設の「全体最適化」をめざす公共施設マネジメントにより、公共施設保有量の適正化、既存施設の有効活用などに全庁挙げて取り組みます。</p>	

本年度事業の活動指標と達成目標					期末記入欄	
No.	事業名	活動指標	目標	関係施策	実績	評価
1	行政経営推進事業費	トップマネジメント研修の理解度	90%	7-①	—	—
2	行財政改革推進事業費	①『松阪市行財政改革推進方針』の認知度 ②「行財政改革」に関する職員研修の実施	①80% ②4回	7-①	—	—
3	公共施設マネジメント推進事業費	個別施設検討会議の開催回数	12回	7-③	—	—
評価基準…A (90%以上)、B (70~89%)、C (50~69%)、D (30~49%)、E (29%以下)						
評価理由 (期末記入欄)						

その他の取組について	
取組名称	期末評価
行政経営品質改善活動の全庁的取組	—
行政組織機構改革を実施した後の検証と継続協議事項等の検討	—
わかりやすく使いやすい窓口機能の検討	—
IoT 社会の到来に対応した行政のあり方の検討	—
民間活力の導入による公民連携の推進	—
有料広告事業の展開（「広報まつさか」、「ホームページバナー」、「モニター広告」、「各種封筒」、「ネーミングライツ」等）	—
「公共施設等総合管理計画」に基づく個々の施設計画の見直し、進捗管理	—
公共施設の削減率を高めるため、部局を超えた横断的な取り組みの展開	—
施設カルテの更新	—
評価基準…A (90%以上)、B (70~89%)、C (50~69%)、D (30~49%)、E (29%以下)	
評価理由 (期末記入欄)	

組織マネジメントシート

宣言④	地域主体の個性ある地域づくりを支援します！		
担当	地域づくり連携課		
『総合計画』の施策との関わり	4-① 住民協議会・市民活動の推進 6-⑧ 中山間地域の振興		
組織紹介	<p>地域づくり連携課は、人口減少や少子高齢化、多様なライフスタイルや家族形態の様変わり等、社会環境や意識の変化によって、地域コミュニティの力が弱まってきている中、地域が地域の限りある資源を活用し、創意工夫をもって「やりくり（経営）」していく「地域マネジメント」の考え方にに基づき、地域住民主体のまちづくりを推進しています。</p> <p>そのために、住民協議会をはじめ、自治会等の地縁の組織や市民活動団体、企業等が連携した協働のまちづくりを進めていきます。</p> <p>平成 29 年度は、松阪市の地域主体のまちづくりに向けた方向性を示す中で、自主自律に向けた地域経営を推進するために、より一層の地域サポートをめざしていきます。</p> <p>また、地域再生への取組として、移住促進を図り人口減少抑制の足掛かりを築いていきます。</p>		

本年度事業の活動指標と達成目標					期末記入欄	
No.	事業名	活動指標	目標	関係施策	実績	評価
1	松阪市自治会連合会補助金	年間事業計画の実施率	100%	4-①	—	—
2	地域マネジメント推進事業費	①講演会の開催数 ②周知チラシの作成回数	①2回 ②1回	4-①	—	—
3	地区集会所建設補助金	制度の告知に向けた通知の実施	年1回	4-①	—	—
4	住民協議会活動交付金	事務局体制の確立に向けた設置数	43協議会	4-①	—	—
5	地域の元気応援事業市民活動サポート補助金	元気アップ松阪への登録数	21団体	4-①	—	—
6	市民活動センター管理運営事業費	市民活動センターの登録団体の増に向けたPR回数	年3回	4-①	—	—
7	市民活動センター施設整備事業費	老朽設備の改修実施	2か所	4-①	—	—
8	指定管理者選定委員会事業費	指定管理者選定委員会の開催	年2回	4-①	—	—
9	地区市民センター管理運営事業費	地区市民センター利用PRの実施	年2回	4-①	—	—
10	地区市民センター施設整備事業費	地区市民センターのトイレ改修工事設計の実施	19施設	4-①	—	—
11	地域づくり連携一般経費	コミュニティ助成事業のPRの実施	年1回	—	—	—
12	地域づくり団体サポート事業費	①団体登録啓発活動 チラシの配布 ②広報によるPRの実施	①年4回 ②年1回	4-①	—	—
13	移住促進事業費	都市部で開催される移住フェアへの出展	年1回	6-⑧	—	—
評価基準…A (90%以上)、B (70~89%)、C (50~69%)、D (30~49%)、E (29%以下)						
評価理由 (期末記入欄)						

組織マネジメントシート

その他の取組について	
取組名称	期末評価
—	—
評価基準…A (90%以上) 、 B (70~89%) 、 C (50~69%) 、 D (30~49%) 、 E (29%以下)	
評価理由 (期末記入欄)	

組織マネジメントシート

宣言④	地域主体の個性ある地域づくりを支援します！		
担当	嬉野地域振興局		
『総合計画』の施策との関わり	4-① 住民協議会・市民活動の推進 6-⑧ 中山間地域の振興		
組織紹介	<p>嬉野地域振興局は、6つの住民協議会の「地域計画」実現に向け、重点項目の確認を行い、各課、事務所が地域の掲げる諸問題に対し、協議会、社会福祉協議会と一体となって取組を進めていきます。</p> <p>地域の抱える問題としては、嬉野宇気郷地域や中郷地域の中山間地域では高齢化による人口減少や獣害対策、中川地域ではコミュニティ機能の脆弱化等があげられ、全体的には安心、安全のまちづくりが課題となっており、優先順位や実施時期を見直し、計画実現をめざします。</p> <p>また、保健センター窓口業務でのワンストップサービスの充実と接遇研修の徹底を図り、利用者へのサービス向上に努めていきます。</p>		

本年度事業の活動指標と達成目標					期末記入欄	
No.	事業名	活動指標	目標	関係施策	実績	評価
1	嬉野地域振興局管理運営事業費	市民サービスの向上を検討する嬉野三雲連携会議の開催回数	12回	—	—	—
2	地域づくり支援事業補助金	イベント参加者の増加率（平成28年度対比）	10%	4-①	—	—
3	地域活性化事業費					
4	中山間地域活性化事業補助金	イベント参加者の増加率（平成28年度対比）	10%	4-① 6-⑧	—	—
5	中郷生活改善センター解体事業費	解体作業進捗率（8月末完了予定）	100%	—	—	—
6	中川新町地域交流センター管理運営事業費	管理運営経費の削減率（平成28年度対比）	10%	—	—	—
評価基準…A（90%以上）、B（70~89%）、C（50~69%）、D（30~49%）、E（29%以下）						
評価理由（期末記入欄）						

その他の取組について	
取組名称	期末評価
公共施設等総合管理計画に基づく地域集会所の譲渡調整	—
うれしのを美しくする運動(ごみゼロ運動)の参加者数の向上	—
おどろまいか事業の出演団体及び来場者数の増	—
移住促進のための中山間地域における地元説明および対象家屋調査の実施	—
三雲地域振興局との情報共有と連携の推進	—
嬉野管内独自の広報誌「うれし伝」を年12回発行	—
評価基準…A（90%以上）、B（70~89%）、C（50~69%）、D（30~49%）、E（29%以下）	
評価理由（期末記入欄）	

組織マネジメントシート

宣言④	地域主体の個性ある地域づくりを支援します！
担当	三雲地域振興局
『総合計画』の施策との関わり	4-① 住民協議会・市民活動の推進
組織紹介	<p>三雲地域振興局は、三雲管内の地域づくりを担い、同時に地域活動の中核と位置づけられる組織です。</p> <p>地域振興を推進する取組としては、「武四郎まつり」をはじめ、碧川周辺の環境を生かした活動など地域の活性化に努めていきます。また、三雲管内独自の広報誌「みくも振興局だより」などで様々な行事の紹介、地域の活動紹介など定期的な情報発信にも取り組んでいきます。</p> <p>特に今年度は、武四郎生誕 200 年の年で、国指定重要文化民族文化財（アイヌ古式舞踊）の交流会なども開催し、また、市が指定する史跡（松浦武四郎誕生地）を活用した「武四郎まつり」を盛大に開催する予定です。</p> <p>さらに、庁舎の維持管理、事務の効率化を図り経費削減に取り組んでいきます。</p>

本年度事業の活動指標と達成目標					期末記入欄	
No.	事業名	活動指標	目標	関係施策	実績	評価
1	三雲地域振興局管理運営事業費	①光熱水費及び燃料費の削減 ②市民サービス向上を検討する嬉野三雲連携会議の開催回数	①15% ②12回	—	—	—
2	旧天白住宅解体事業費	解体作業進捗率（9月未完了予定）	100%	—	—	—
評価基準…A（90%以上）、B（70~89%）、C（50~69%）、D（30~49%）、E（29%以下）						
評価理由（期末記入欄）						

その他の取組について	
取組名称	期末評価
三雲管内独自の振興局だより「みくも」を年12回発行	—
各地域の団体（住民協議会、自治会、消防団等）との連携・協力体制	—
地域活性化事業として「武四郎まつり」等を開催	—
嬉野地域振興局との情報共有と連携の推進	—
評価基準…A（90%以上）、B（70~89%）、C（50~69%）、D（30~49%）、E（29%以下）	
評価理由（期末記入欄）	

組織マネジメントシート

宣言④	地域主体の個性ある地域づくりを支援します！		
担当	飯南地域振興局		
『総合計画』の施策との関わり	4-① 住民協議会・市民活動の推進 6-⑧ 中山間地域の振興		
組織紹介	<p>飯南地域振興局は、柿野出張所とあわせて管内の行政サービス及び防災の拠点となっています。平成29年4月の組織機構改革によって、飯南・飯高管内の土木、農林水産、教育部門の組織を集約したため、これまで以上に飯高地域振興局及び各事務所と緊密な連携と情報共有を行い、事務の効率化と行政サービスの向上を図っていくことが必要です。</p> <p>近年、管内では、過疎化と少子高齢化が急速に進行しています。このような中、コミュニティの維持、安全・安心の確保、文化の継承、地域経済の活性化などのため、「空き家バンク」をはじめとする移住促進に取り組んでいます。</p> <p>今後もより一層、住民協議会など、地域との協働を推進し、アイデアを生かし、スピード感を持って様々な施策に取り組んでいくことが求められています。</p>		

本年度事業の活動指標と達成目標					期末記入欄	
No.	事業名	活動指標	目標	関係施策	実績	評価
1	飯南地域振興局管理運営事業費	市民サービス向上を検討する飯南飯高連携会議の開催	12回	—	—	—
2	出逢い創出事業費	様々なメディアを活用した情報発信	10回	—	—	—
3	飯南コミュニティセンター管理事業費	庁舎内の整理整頓とチェック	12回	—	—	—
4	出張所管理事業費	市民サービス向上を検討する飯南飯高連携会議の開催	12回	—	—	—
5	空き家バンク活用補助金	移住促進イベントへの参加促進活動	3回	4-①	—	—
6	移住促進のための空き家リノベーション支援補助金					
7	田舎暮らし推進事業費	イベントとセミナーの開催	4回	6-⑧	—	—
評価基準…A (90%以上)、B (70~89%)、C (50~69%)、D (30~49%)、E (29%以下)						
評価理由 (期末記入欄)						

その他の取組について	
取組名称	期末評価
地域観光資源（茶倉）の再生と情報発信	—
地域活性化及び文化継承イベントの支援	—
飯南高校活性化のための検討	—
飯高地域振興局との情報共有と連携の推進	—
国際交流の推進	—
健康づくりの推進	
評価基準…A (90%以上)、B (70~89%)、C (50~69%)、D (30~49%)、E (29%以下)	
評価理由 (期末記入欄)	

組織マネジメントシート

宣言④	地域主体の個性ある地域づくりを支援します！		
担当	飯高地域振興局		
『総合計画』の施策との関わり	4-① 住民協議会・市民活動の推進 6-⑧ 中山間地域の振興		
組織紹介	<p>飯高管内は、奈良県境に位置する中山間地域で、市面積の約4割を占める広範囲の行政エリアを有しており、地域振興局と川俣・森・波瀬出張所が行政サービス及び防災の拠点となっています。平成29年4月の組織機構改革によって、飯南・飯高管内の土木、農林水産、教育部門の組織を集約したことで、事務の効率化を図り、これまで以上に飯高地域振興局と緊密な連携と情報共有を行い、行政サービスの向上を図っていきます。</p> <p>山間部では、人口減少、高齢化が著しく、集落の維持が危ぶまれる地域が出始めており、高齢者等への生活支援が課題となっています。</p> <p>一方、豊かな自然環境（高見山、宮ノ谷、蓮ダム等）、歴史文化（大谷嘉兵衛、珍布峠等）の地域資源に恵まれており、住民協議会等と協働し、これらの魅力を発信、活用し、交流人口の拡大を図っていきます。</p>		

本年度事業の活動指標と達成目標					期末記入欄	
No.	事業名	活動指標	目標	関係施策	実績	評価
1	飯高地域振興局管理運営事業費	市民サービス向上を検討する飯南飯高連携会議の開催	12回	—	—	—
2	飯高総合開発センター管理事業費	庁舎内の整理整頓とチェック	12回	—	—	—
3	飯高地域振興局整備事業費	空調設備更新進捗率（2月末完了予定）	100%	—	—	—
4	飯高山岳救助隊支援事業補助金	登山道巡視等	5回	—	—	—
評価基準…A（90%以上）、B（70~89%）、C（50~69%）、D（30~49%）、E（29%以下）						
評価理由（期末記入欄）						

その他の取組について	
取組名称	期末評価
出張所（川俣、森、波瀬）業務の効率化	—
地域活性化（蓮ダム活用）イベントの開催及び交流・文化継承イベントの支援	—
地域資源（自然環境、歴史文化等）の情報発信、活用による交流人口の拡大	—
飯高管内独自の広報誌「飯高とときだより」を年12回発行	—
飯南高校活性化のための検討	—
飯南地域振興局との情報共有と連携の推進	—
評価基準…A（90%以上）、B（70~89%）、C（50~69%）、D（30~49%）、E（29%以下）	
評価理由（期末記入欄）	

